



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 ニッコンホールディングス株式会社
 コード番号 9072 URL <http://www.nikkon-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 黒岩 正勝
 (氏名) 忝田 泰典
 TEL 03-3541-5330
 配当支払開始予定日 2022年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	103,751	9.7	8,895	4.0	10,303	3.5	7,010	7.2
2022年3月期第2四半期	94,614	10.5	9,262	31.7	9,952	25.9	6,542	25.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,519百万円 (32.9%) 2022年3月期第2四半期 6,412百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	108.06	107.80
2022年3月期第2四半期	99.47	99.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	351,011	222,597	63.3
2022年3月期	339,475	219,035	64.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 222,065百万円 2022年3月期 218,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		34.00		35.00	69.00
2023年3月期		48.00			
2023年3月期(予想)				48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	9.5	20,200	3.5	22,300	3.3	15,400	4.5	238.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は四半期決算短信(添付資料)11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	65,739,892 株	2022年3月期	68,239,892 株
2023年3月期2Q	1,418,646 株	2022年3月期	2,723,278 株
2023年3月期2Q	64,878,030 株	2022年3月期2Q	65,768,773 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数及び期中平均自己株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役を受益者とする信託が保有する当社自己株式(2023年3月期2Q 26,900株)が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和や各種政策の効果等により持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の影響による資源・原油価格の高騰や急速な円安の進行などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、原油価格の高騰、慢性的な人手不足、競争の激化など、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループの第2四半期連結累計期間における売上高は、業務量の回復などにより1,037億51百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

営業利益につきましては、燃料費や人件費の増加などにより88億95百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

経常利益につきましては、為替差益の計上などにより103億3百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては70億10百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

貨物取扱量の回復などにより、売上高は472億20百万円（前年同期比10.1%増）となりました。営業利益は、燃料価格の高騰はありましたが、増収効果や輸送効率向上などにより21億45百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

② 倉庫事業

国内外で継続的に行ってきた倉庫の新增設の効果等により保管貨物量が増加し、売上高は186億91百万円（前年同期比12.4%増）となりました。営業利益は、増収効果などにより42億93百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

③ 梱包事業

業務量の回復などにより、売上高は238億74百万円（前年同期比11.8%増）となりました。営業利益は、人件費や外注費の増加などにより11億7百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

④ テスト事業

新型コロナウイルス感染症によるテスト業務の中止や遅れの発生により、売上高は101億98百万円（前年同期比1.6%減）となりました。営業利益は、人件費や外注費の増加などにより8億25百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は788億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億42百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が46億66百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,721億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億93百万円増加いたしました。これは主に、岩手県北上市、宮城県岩沼市、群馬県邑楽町、神奈川県厚木市、滋賀県日野町、三重県鈴鹿市、福岡県志免町に倉庫を取得、神奈川県厚木市、福岡県志免町に事業所用地を取得したことなどにより有形固定資産が79億19百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,510億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ115億36百万円増加いたしました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は557億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億67百万円増加いたしました。これは主に長期借入金からの振替により短期借入金が121億円増加した一方、その他のうちの未払金が15億円減少したことによるものであります。固定負債は726億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億93百万円減少いたしました。これは主に新規借入及び短期借入金への振替により長期借入金が30億11百万円、繰延税金負債が4億58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,284億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ79億73百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,225億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億62百万円増加いたしました。これは主に増加要因として自己株式が33億56百万円減少、為替換算調整勘定が24億34百万円増加した一方、減少要因として利益剰余金が12億80百万円、その他有価証券評価差額金が9億81百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3%（前連結会計年度末は64.4%）となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は340億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億9百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は125億93百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ8億44百万円減少しました。これは主に増加要因として、減価償却費が6億2百万円増加し、法人税等の支払額が6億74百万円減少した一方で、減少要因として売上債権の増減額によるキャッシュ・フローが13億90百万円、その他の資産の増減額によるキャッシュ・フローが3億95百万円それぞれ減少したものであるものとあります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は125億38百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ6億43百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が4億83百万円、無形固定資産の取得による支出が3億34百万円それぞれ増加したことによるものとあります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は40億62百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ83億94百万円増加しました。これは主に増加要因として長期借入による収入が100億円増加、長期借入金の返済による支出が10億17百万円減少した一方、減少要因として自己株式の取得による支出が26億56百万円増加したことによるものとあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,227	34,893
受取手形及び売掛金	35,110	34,566
電子記録債権	3,545	3,542
有価証券	456	145
原材料及び貯蔵品	531	559
その他	4,797	5,207
貸倒引当金	△12	△15
流動資産合計	74,655	78,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,224	113,485
機械装置及び運搬具(純額)	8,825	8,335
工具、器具及び備品(純額)	1,323	1,427
土地	110,792	115,126
リース資産(純額)	180	139
建設仮勘定	7,981	1,732
有形固定資産合計	232,328	240,247
無形固定資産	2,173	2,460
投資その他の資産		
投資有価証券	20,911	19,519
長期貸付金	559	511
繰延税金資産	3,485	3,497
その他	5,390	5,924
貸倒引当金	△29	△48
投資その他の資産合計	30,317	29,404
固定資産合計	264,819	272,113
資産合計	339,475	351,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,537	11,282
電子記録債務	6,200	6,490
短期借入金	1,823	13,923
リース債務	85	69
未払法人税等	3,645	3,220
賞与引当金	3,977	4,101
役員賞与引当金	196	108
設備関係支払手形	489	687
営業外電子記録債務	3,929	4,454
その他	12,482	11,395
流動負債合計	44,367	55,734
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	13,210	10,198
リース債務	88	53
繰延税金負債	5,138	4,679
退職給付に係る負債	5,696	5,817
役員退職慰労引当金	435	405
その他	1,502	1,524
固定負債合計	76,072	72,679
負債合計	120,440	128,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	190,340	189,060
自己株式	△6,609	△3,252
株主資本合計	207,380	209,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,621	8,640
為替換算調整勘定	1,807	4,242
退職給付に係る調整累計額	△330	△273
その他の包括利益累計額合計	11,098	12,609
新株予約権	227	210
非支配株主持分	328	321
純資産合計	219,035	222,597
負債純資産合計	339,475	351,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	94,614	103,751
売上原価	80,430	89,156
売上総利益	14,183	14,595
販売費及び一般管理費	4,921	5,699
営業利益	9,262	8,895
営業外収益		
受取利息	36	43
受取配当金	344	338
受取賃貸料	37	37
持分法による投資利益	170	262
為替差益	—	584
雑収入	233	295
営業外収益合計	823	1,561
営業外費用		
支払利息	92	104
為替差損	17	—
雑支出	23	48
営業外費用合計	133	153
経常利益	9,952	10,303
特別利益		
固定資産売却益	63	30
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	67	30
特別損失		
固定資産売却損	11	3
固定資産除却損	55	101
投資有価証券売却損	4	—
特別損失合計	71	104
税金等調整前四半期純利益	9,948	10,229
法人税等	3,402	3,235
四半期純利益	6,545	6,994
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	3	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,542	7,010

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,545	6,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	△981
為替換算調整勘定	△373	2,310
退職給付に係る調整額	27	57
持分法適用会社に対する持分相当額	66	137
その他の包括利益合計	△133	1,524
四半期包括利益	6,412	8,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,411	8,521
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,948	10,229
減価償却費	5,245	5,847
賞与引当金の増減額(△は減少)	158	112
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△71	△88
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	115
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△30
受取利息及び受取配当金	△381	△382
支払利息	92	104
持分法による投資損益(△は益)	△170	△262
固定資産売却損益(△は益)	△52	△27
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,522	1,132
その他の資産の増減額(△は増加)	505	110
仕入債務の増減額(△は減少)	△789	36
その他の負債の増減額(△は減少)	69	△960
その他	△429	△484
小計	16,617	15,473
利息及び配当金の受取額	874	512
利息の支払額	△92	△104
法人税等の支払額	△3,961	△3,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,438	12,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△614	△649
定期預金の払戻による収入	657	995
有価証券の取得による支出	△225	—
有価証券の売却による収入	497	365
有形固定資産の取得による支出	△12,261	△12,745
有形固定資産の売却による収入	122	33
無形固定資産の取得による支出	△85	△420
投資有価証券の取得による支出	△126	△14
投資有価証券の売却による収入	95	4
貸付けによる支出	△90	△7
貸付金の回収による収入	130	74
その他	6	△176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,894	△12,538

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△1,928	△911
自己株式の取得による支出	△0	△2,657
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,234	△2,294
非支配株主への配当金の支払額	△6	△5
その他	△162	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,332	4,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,895	4,909
現金及び現金同等物の期首残高	30,366	29,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,471	34,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,207,400株を2,656百万円で取得しました。

また、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,500,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式が5,986百万円それぞれ減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	11,592	4,023	8,397	10,028	34,042	714	34,756
自動車部品	9,622	4,616	4,559	283	19,082	787	19,869
住宅	7,464	1,436	3,750	—	12,651	70	12,722
農機	2,448	840	493	8	3,791	65	3,856
食品・飲料	1,005	1,208	357	—	2,570	100	2,670
新聞・出版物	2,294	0	0	—	2,294	—	2,294
その他	8,461	4,509	3,793	39	16,803	1,639	18,443
顧客との契約 から生じる収益	42,888	16,635	21,351	10,360	91,236	3,377	94,614
外部顧客への売上高	42,888	16,635	21,351	10,360	91,236	3,377	94,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	137	146	208	11	503	1,277	1,780
計	43,026	16,782	21,560	10,371	91,740	4,654	96,394
セグメント利益	2,089	3,745	1,428	1,521	8,785	554	9,339

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,785
「その他」の区分の利益	554
その他の調整額(注)	△77
四半期連結損益計算書の営業利益	9,262

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	12,598	4,646	9,957	9,886	37,089	325	37,414
自動車部品	11,053	5,051	4,756	247	21,108	1,102	22,211
住宅	7,824	1,699	3,934	—	13,458	88	13,547
農機	2,468	781	459	13	3,723	53	3,777
食品・飲料	935	1,207	387	—	2,530	33	2,564
新聞・出版物	2,290	0	—	—	2,290	—	2,290
その他	10,050	4,998	4,377	50	19,478	1,590	21,069
顧客との契約 から生じる収益	47,220	18,386	23,874	10,198	99,679	3,194	102,874
その他の収益	—	305	—	—	305	571	877
外部顧客への売上高	47,220	18,691	23,874	10,198	99,985	3,766	103,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	193	144	162	9	510	1,565	2,075
計	47,414	18,836	24,036	10,208	100,495	5,331	105,827
セグメント利益	2,145	4,293	1,107	825	8,372	636	9,008

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,372
「その他」の区分の利益	636
その他の調整額(注)	△113
四半期連結損益計算書の営業利益	8,895

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。